

## 1. 竹島問題に対する日韓両国政府の外交方針の違い

### (1) 日本（国際法重視）

- ① 国際法に基づき、国際司法裁判所への提訴（3回）←韓国政府拒否
- ② 内閣官房及び外務省→情報発信と資料集収
- ③ 民間に研究調査委託←島根県竹島問題研究会との違い
- ④ 日本政府、島根県議会による「竹島の日」条例成立を牽制

### (2) 韓国（歴史認識偏重）

- ① 「歴史・独島問題を長期的、総合的、体系的に取り扱う専担機関の設置」指示
- ② 「東北アジアの平和のための正しい歴史定立企画団」→「東北アジア歴史財団」
- ③ 慰安婦問題、日本海呼称問題（東海併記問題）、歴史教科書問題、靖国参拝問題
- ④ 歴史の事実と歴史認識の違い←過去の清算←韓国社会の特質

## 2. 教育に対する姿勢の違い

### (1) 日本

- ① 平成29年度版『学習指導要領』に初めて竹島記載
- ② 島根県竹島問題研究会、竹島教育の指導案作成
- ③ 外務省『竹島問題を理解する10のポイント』←島根県竹島問題研究会の報告書

### (2) 韓国

- ① 島根県の中学56校に届いた韓国の中学生の手紙とその背景
- ② 2011年、文化教育部「小・中・高等学校独島教育の内容体系」公表
- ③ 2011年、「東北アジア歴史財団」→独島教育の副教材開発(小・中・高対象)

## 3. 竹島問題の活用

- (1) 竹島資料室発足の背景→ソフトから箱ものへ→竹島教育の拠点
- (2) 自然と集まる資料→「竹島の日」の式典時にお礼
- (3) 『安龍福の供述と竹島問題』（島根県総務部総務課）の活用法
- (4) 「久見竹島歴史館」の活用法→福浦弁財天女社殿

## 4. 隠岐諸島と島根、鳥取を竹島教育の教育場化

- (1) 隠岐相撲の活用
- (2) 隠岐の牛突き
- (3) 「志」のツアー計画→麴陵島→竹島→隠岐諸島→島根県
- (4) 「志」のツアー第二弾→参加者が各地の名酒を持ち寄り、隠岐の酒と飲み比べ等々